

北陸圏独自の目標・取組み	独自性のポイント
第3章 新しい将来像実現に向けた目標	
目標1. 個性ある北陸圏の創生	
②都市と農山漁村が共生した豊かさを実感できる暮らしの実現	
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸圏域内における公共交通等の利便性が確保・向上され、各都市内や都市間での流動が促進されることで、富山県、石川県、福井県が連携した都市機能等の相乗効果を発揮 	富山県、石川県、福井県が並列している地理的特徴と北陸新幹線を活かした接続型都市圏の形成
③自然災害に強い暮らしの実現	
<ul style="list-style-type: none"> ・短期間の集中的な大雪など北陸圏の特徴的な問題でもある雪害に対するリスクが軽減され、暮らし続けられる雪国を実現 	北陸圏の特徴的な問題である雪害に対する対策の強化
目標2. 競争力のある産業の育成	
③新たな需要を取り込み地域産業の活性化	
<ul style="list-style-type: none"> ・太平洋側からの本社機能・生産拠点等の移転により、太平洋側で発生が懸念される巨大災害に対するリスクが軽減され、国内企業等の安定的な経済活動を実現 	太平洋側の巨大災害リスクを軽減する北陸圏への本社機能・生産拠点等の移転促進
目標3. 日本海側の中枢圏域の形成	
①北陸圏の社会経済活動を支える信頼性の高いネットワークの形成	
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸圏域内の港湾・空港における取扱貨物量が増加し、日本海側のゲートウェイ機能を果たすことで北陸圏域内や隣接圏域などの国際競争力が強化 	北陸圏の港湾・空港が日本海側のゲートウェイ機能を果たし、国際競争力強化
<ul style="list-style-type: none"> ・高速交通や圏域内の二次交通によるヒト・モノの流動が促進されることで、太平洋側圏域と連携した経済圏域の形成を実現 	北陸圏が太平洋側圏域と連携して経済圏域を形成
<ul style="list-style-type: none"> ・日本海側の防災拠点やネットワークの形成が促進されることで、太平洋側で発生が懸念される巨大災害の発生時においても、国全体で社会経済活動の維持及び迅速な復旧・復興を実現 	太平洋側の巨大災害リスクを軽減する北陸圏のネットワーク機能の強化
目標4. 交流・関係人口の創出	
①北陸圏魅力を活かした観光を通じた交流	
<ul style="list-style-type: none"> ・北陸圏の伝統産業や歴史・景観・食文化などの観光資源の磨き上げ、コンテンツの充実化等による国内交流の拡大 	
②三大都市圏等との新たな交流	
<ul style="list-style-type: none"> ・充実した広域交通により北陸圏域内の新幹線駅や空港の乗降客数が増加し、交通結節点やその周辺地域において三大都市圏や海外等との新たな交流を創出 	北陸新幹線延伸等を契機とした新幹線駅周辺でのにぎわい創出
第4章 取組みの方向性	
1. 目標1の取組みの方向性	
(1)多様な価値観やライフスタイルに応じた暮らし方・働き方のできる生活環境・雇用環境の拡充・支援	
<ul style="list-style-type: none"> ◆安心して出産・育児ができる環境や共働きを可能とする子育て支援の拡充 	北陸圏の特徴でもある子育てしやすい環境の更なる充実
<ul style="list-style-type: none"> ◆ユニバーサル環境整備、雪国の安全・安心な移動空間の形成 	冬季の安全・安心な移動空間の確保(冬季道路情報の提供や官民が連携した歩道除雪等)
(2)デジタルを活用した「地域生活圏」の形成	
<ul style="list-style-type: none"> ◆中核都市を中心としたコンパクト+ネットワークづくりと接続型都市圏の形成 	富山県、石川県、福井県が並列している地理的特徴と北陸新幹線を活かした接続型都市圏の形成
<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタルを活用した暮らしやすさのPRによる住みたい、移住したくなる二地域居住、定住化、UIターン 	田舎暮らしを希望するシニア世代の移住促進、雪国での魅力ある暮らしのPR
(3)安全・安心な地域づくりに向けて、あらゆる関係者が連携・協働し、ソフト・ハード一体となった防災・減災対策の一層の強化・推進	
<ul style="list-style-type: none"> ◆災害に強い国土形成 	短期間の集中的な大雪時の通行規制や集中除雪、立ち往生車両発生時の対応
<ul style="list-style-type: none"> ◆デジタル技術を活用した的確な防災情報の提供・発信や災害情報の把握・共有による地域防災力の向上 	短期間の集中的な大雪時における関係機関の情報共有及び外出自粛要請等の事前周知
2. 目標2の取組みの方向性	
(2)産官学及び企業間の連携とデジタルの活用等による競争力強化とイノベーション創出、起業環境の醸成	
<ul style="list-style-type: none"> ◆ものづくり産業集積とデジタル技術を活用した産業競争力の強化 	産業競争力の向上にむけて北陸圏の強みでもあるものづくり産業を強化
<ul style="list-style-type: none"> ◆起業意欲にあふれる人材の育成・定着と誘致、ものづくりの継承 	北陸圏のものづくりを支える伝統産業等の保存・継承
(3)三大都市圏に近接する強みを活かした産業拠点の形成と、国内・海外との経済連携や情報発信の強化	
<ul style="list-style-type: none"> ◆きれいな水、良質な地下水、優れた人材・企業、ICIに近い等の優位性のPRの推進 	三大都市圏と近接している地理的特徴を活かした企業等の誘致
<ul style="list-style-type: none"> ◆太平洋側からの本社・研究機能等企業誘致の促進 	太平洋側の巨大災害リスクを軽減する北陸圏への本社機能・生産拠点等の移転促進
3. 目標3の取組みの方向性	
(1)日本海側圏域及び太平洋側圏域との連携強化のための物流・交通ネットワークの充実	
<ul style="list-style-type: none"> ◆港湾・空港・駅・インターチェンジ等交通結節点の機能強化やアクセス機能の強化等による国内外に展開する信頼性の高い物流、旅客機能の形成・強化 	冬季間でも信頼性の高い物流・旅客を実現するため関係機関が連携した除雪体制の充実
<ul style="list-style-type: none"> ◆太平洋側の安全・安心に貢献する日本海側の防災拠点・ネットワークの強化 	太平洋側の巨大災害リスクを軽減する北陸圏のネットワーク機能の強化
<ul style="list-style-type: none"> ◆北陸新幹線、東海道新幹線、リニア中央新幹線が環状で機能する広域ネットワークの強化 	北陸新幹線による太平洋側との環状の高速交通体系の形成
4. 目標4の取組みの方向性	
(1)北陸の伝統産業や歴史・景観・食文化等に彩られた地域資源の磨き上げと北陸圏内観光周遊ルートの充実	
<ul style="list-style-type: none"> ◆伝統的な産業、自然・歴史に培われた雪国の暮らしの継承・発信と新しい雪文化の創造 	北陸圏の雪国文化の保存・継承と交流・関係人口拡大への活用
(2)北陸新幹線延伸やリニア中央新幹線開業を契機とした圏域内外との新たな交流圏の形成	
<ul style="list-style-type: none"> ◆交流に必要な交通基盤、社会基盤整備 	北陸新幹線延伸等を契機とした新幹線駅周辺でのにぎわい創出
<ul style="list-style-type: none"> ◆新たな「ゴールデンルート」の形成 	北陸新幹線による太平洋側との環状の高速交通体系の形成